

市内の学校の取り組み②

山田小学校

「図書館教育」「人権教育」「健康教育」を3本柱として、取り組んでいます。昨年、第52回読書まつりが行われ、学年の発表も好評でした。県内最大の蔵書を持つ図書館では、多くの子どもたちが、朝早くから読書に夢中になっています。読書感想文コンクールで「県教育長賞」もいただきました。このことは、ひとえにご家庭の協力や読書サークルや読み聞かせにボランティアでおいでいただいたいるお母さん方のご支援のたまものです。

人権教育では、「差別をしない させない 許さない子ども」を育てようと、仲間づくりを大切に考えています。また健康教育では、基本的な生活習慣が身に付くように生活を見つめる子どもを育てようとしています。今年から体育部が「山小アニマル体操」を創作して体

力向上を図っています。

今春、1年生は、学校生活にも慣れ、勉強に遊びに元気よく頑張っています。2年生は、学校近くの畑をお借りして、お芋のツルを植えました。



3年生は、今年も、味噌づくりに取り組み、山小まつりで販売を計画しています。昨年は、大好評ですぐに完売。今年は、こじゃんとよけ作ります。4年生は、農協青壮年部

の人たちの協力で餅米を作りました。どろんこ遊びを経験した後、田植えをし、今は稲がぐんぐん育っています。餅つきが楽しみです。5年生は、物部川に関心を持つなかで、森林の働きと環境をテーマに間伐や椎茸栽培を体験しようと計画をしています。

6年生は、「夢」プロジェクトという、日本で活躍しているさまざまな運動選手をお招きして、出合いを大切にしていこうと考えています。今年の山小のキーワードは、「食と体験活動」です。

佐岡小学校

「苗は5本ぐらいとって植えるんだよ」の地域の方の声を合図に、一斉に田植えが始まりました。5月30日に地域参観日として、特に地域の方々に集まっていたとき、一緒に田植えを行いました。

今年度は、「認め合い、学び合い、発表し合う佐岡っ子」を目標に、仲間づくりと基礎学力の定着、自分の思いを自分の言葉で伝えられる表現力の育成を目指して取り組んでいます。児童数は、現在20人です。休み時間には、上級生がリードして全校遊びを始めるなど、自分たちの課題を見つめ、自分たちで解決してきかっています。



豊かな心を育む体験活動として、今回の田植えのように、保護者や地域の方々と一緒に活動ができるだけたくさん取り入れていま

す。昨年度は、佐岡の景観を見直す取り組みとして、学校周辺3カ所に、手作りの看板とプランターの花を設置し、児童のみんなが水やりや掃除を交代で行いました。

また、PTAの活動として、地域ぐるみで空き缶回収も開始し、児童の活動が、保護者や地域へと広がっています。今では、地域の皆さんが、仕事に行く途中などに、集まった空き缶を学校まで届けてくださっています。

先日の田植えは、児童たちの心を込めて作った招待状も地域の方に配りました。たくさんの方々に、いっしょに苗の植え方などを学び、児童が生き生きとした表情で活動ができました。今後とも、少人数の良さを生かし、佐岡小学校ならではの取り組みをしていきたいと思っています。

【児童の感想より】

「ぼくは、田んぼへ靴を入ったことはあつたけど、はだしは初めてでした。ドキドキしていました。入っ

たとき、足がはまって抜けなくなつてびっくりしました。苗を植えたことも初めてだったけど、おじいちゃんや植えているのを見たからわかりました。もつといっぱいやりたかったです」

「今日の田植えは、全校でやったので特に楽しかったです。土がグチャグチャでいやでしたが、おもしろかったです。今日一日ともうれしい気分です。また、こんなうれしい気分になりたいです」

香長小学校

児童数は65人で、教職員数は11人の小規模の学校です。平成17年度に平山小学校と統合になり校区は倍増しましたが、昔からの地元住民が多く平穏な田園地帯を多くもつ地域です。また、古墳や古窯跡群など、たくさんさんの遺跡や遺物も残されています。

地域の人・自然・文化と積極的に関わり、地域を生かした特色ある取り組みとして、勤労生産販売活動を行っています。

地域の人たちの指導と協

力により、餅米作りを通して、代掻きから収穫までの体験や取れた餅米の販売活動を行い、地域の方々の触れ合いを深めています。

また、もちつき大会には老人クラブの協力も得ながら、餅をついたり丸めたり一緒に楽しく行っています。

基礎学力の定着と学力向



上として、チャレンジタイムを週2時間設定し、国語の漢字の書き取りや算数の計算に取り組んでいます。

全校の児童数も多くないのに異年齢でのつながりがあり、あまり見られないので、昨年度より全校での班活動と始めました。その活動とし

て、縦割り班掃除や班対抗のレクリエーションを行っています。

学級掃除の時よりも全校が一生懸命に清掃活動に取り組んでいる姿や、上級生が下級生に優しく教えている姿が見られるようになりました。今年度に入っては、上級生と下級生が仲良く遊ぶ姿が見られるようになったのは嬉しいことです。

舟入小学校

本校は舟入川沿いに位置する児童数153人の元氣な子どもたちが通っている学校です。4年前に舟入川に作られた水車がシンボルとなっています。この水車は現在も継続して取り組んでいるエネルギー教育の教材の一環として、地域の方々の協力を得て設置したものです。普段はこの水車で起こした電力でイルミネーションを点灯して地域の方にも楽しんでもらっています。

エネルギー教育については昨年度からエネルギー教育実践シニア校として、(財)エネルギー環境教育情報センターから認定されて取り

組んでいます。

【今年の年間行事の一部】

エネルギー教育に取り組み始めてから実施している「エネルギー環境フェスティバル」を11月に計画しています。これは全校児童を中心に保護者・地域の方にも参加していただく公開講座です。この講座は10組程度の講師によるエネルギー関係の実験を中心とした授業です。大人も子どもも楽



しみながらエネルギーについて学習できるということで、子どもたちだけでなく参加した大人の方にも大変楽しみにしてもらっている行事です。

「ふなイレフェア」(学習発表会)は毎年2月に行い、各学級が体験学習の成果や劇、音楽等、この1年間学習してきたことのまとめとして工夫した内容で発表しています。これも保護者や地域の方に来ていただいています。

また、4年前から行われている「ふなイレ祭り」はPTAや地域の方の実行委員会が主催の行事ですが、本校のグラウンドを会場に子ども会や地域の各種団体の協力を得て大変賑やかに開催されています。これは舟入校区の地域住民が大人も子どもも共にふれあい、楽しもうというのを目的に「地球にやさしいふなイレ祭り」というキャッチフレーズで、エコについても配慮しながら夏の夜を楽しもうと取り組んでいるものです。子どもたちもステージでの歌や作品展示などで参加し、楽しんでいきます。今年も7月26日(土)の開催が決まり、取り組みを始められています。